

## 単元名 読んで、そうぞうしたことをつたえ合おう

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。  
 (2) 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。  
 (3) 登場人物の行動や気持ちを捉え、読んで想像したことを伝え合おうとする。

## 標準的な展開例

03010103\_001

【教材名】きつつきの商売 (上 P.15～P.29)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教材文を読み、学習の見通しをもつ。  ★学習の計画を立てよう。  ○「きつつきの商売」の題名から、どんな動物が出てくるか話し合う。</p> <p>○全文を音読して感想を書く。  ○学習課題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>2～3 「1」と「2」の場面を整理し、書かれている様子を思い浮かべながら音読する。  ★様子を思い浮かべながら音読しよう。  ○教材文を読み、きつつきがどんな商売をしているか話し合う。  ○二つの場面の様子を調べて、ノートに書き出し、話し合う。  ・場所・天気などの様子  ・登場人物がしたこと  ○好きな場面を選んで、書かれている様子を思い浮かべながら音読する。</p> <p>○「きつつき」が聞かせた音について、叙述を基に具体的に想像し、話し合う。</p> <p>4 音を聞いた登場人物の気持ちを考えて、伝え合う。  ★音を聞いた登場人物の気持ちを考えよう。  ○教師の範読を聞く。</p> <p>○音を聞いた登場人物の様子を整理する。</p> <p>○音を聞いた登場人物の気持ちを想像し、話し合う。</p> <p>5～7 「3」の場面を作る。  ★「3」の場面を考えて、よいところを伝え合おう。  ○登場人物や出来事などを考える。  ・登場人物  ・場所や天気など  ・音  ・出来事など  ○想像した「3」の場面の内容を書く。  ○書いたものを友達と紹介し合い、感想を交流する。</p> <p>8 学習を振り返る。  ○教科書(P.27)「ふりかえろう」で、単元の学びを振り返る。  ○教科書(P.28)「この本、読もう」で読書へのつなげ方や読書記録の付け方を知る。</p>	<p>・読む前に、題名から内容を予想させ、物語への関心を高める。  ・二次元コードで、「木のうろ」や、「たちつぽすみれ」の画像を見せると、イメージをつかみやすい。  ・挿絵を活用し、場面の変化を押さえる。  ・教科書(P.4)「三年生の国語の学びを見わたそう」を参考にする。</p> <p>・教科書(P.26)「読んで、そうぞうしたことをつたえ合おう」を読んで、ノートを書くときの整理の仕方を確認する。</p> <p>・教科書(P.26)「読んで、そうぞうしたことをつたえ合おう」の「音読のしかた」を参考にし、自分ならどう音読するかを考え、グループで交流させる。  【評】二つの場面を整理して音読する活動を通して、「知識・技能」を評価する。  【評】言葉から人物の気持ちを想像して音読の工夫を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。  【評】叙述を基に聞かせた音について、話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・音を聞いた登場人物の気持ちが分かる行動や会話、様子、出来事などに線を引かせる。  ・教科書(P.27)「ノートのれい」を参考に、ノートに整理させる。  ・ノートに整理した音を聞いた登場人物の様子から、叙述を基に考えさせる。  【評】登場人物の気持ちを想像し、考えを話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書(P.27)「ノートのれい」を参考にして看板に必要なことを押さえる。</p> <p>・ノートを基に想像した内容を書かせる。  ・友達の書いた内容を聞いて、「いいな」「おもしろいな」と思ったことを伝えさせる。  【評】想像した「3」の場面を伝え合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書(P.28)「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。</p>

【 備 考 】